

Sun StorageTek™
1Uラックマウント型メディア
トレイ
リファレンス ガイド

ご注意

© Copyright 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Hewlett-Packard Company (「HP」) は、本書を Sun Microsystems, Inc. (「Sun」) のために作成しました。

Sun は、本書についていかなる保証 (商品性および特定の目的のための適合性に関する黙示の保証を含む) も与えるものではありません。Sun は、本書中の誤りに対して、また本書の供給、機能または使用に関連して生じた付随的損害、派生的損害または間接的損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護されている機密情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Sun の事前の書面による承諾なしに複製、複製、あるいは他の言語に翻訳することはできません。

Sun は、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねます。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Sun 製品に対する保証は、当該製品に付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。ここに記載の何ものも、追加保証を構成すると解釈されるものではありません。

ここに記載されているその他の商標は、他の企業に帰属します。

1 つ以上の米国特許により保護されています。No. 5,003,307、5,016,009、5,463,390、5,506,580 の米国特許は Hi/fn, Inc. が保有しています。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows XP は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

目次

本書について	7
対象読者	7
表記上の規則および記号	7
ラックに関する注意	8
Sunのテクニカル サポート	8
SunのWebサイト	8
ご意見、ご感想	9
1 概要	11
標準機能	11
メディアトレイのコンポーネント	12
メディアトレイのフロント パネルのコンポーネント	12
メディアトレイのリア パネルのコンポーネント	12
メディアトレイ内部のコンポーネント(図はSASバージョン)	13
2 デバイスの取り付け	15
2台のデバイスの配線	18
SASデバイス	18
SCSIデバイス	18
1つのSCSIバスに2台のドライブ	18
1つのSCSIバスに1台のデバイス	20
3 ラックの取り付け	21
レール マウント キット	21
必要な工具	21
メディアトレイのラックへの取り付け	22
はじめる前に	22
コンポーネントレールの取り付け	22
ラックレールの取り付け	23
丸穴または四角穴が付いたラックへの取り付け	23
10-32ネジ穴のあるラックへの取り付け	24
取り付け作業の仕上げ	25
A 静電気対策	29
静電気による損傷の防止	29
静電気による損傷を防止するためのアースの方法	29
B 仕様	31
索引	33

目 一 覧

1	1Uラックマウント型メディアトレイ	11
2	フロント パネルのコンポーネント	12
3	リア パネルのコンポーネント	12
4	内部コンポーネント	13
5	アクセス パネルの取り外し	15
6	デバイス ブランクの取り外し	16
7	マウント用ブラケットの取り外し	16
8	マウント用ブラケットの取り付け	16
9	デバイスの取り付け	17
10	ケーブルの接続	17
11	アクセス パネルの取り付け	18
12	2台のデバイスのSCSI構成	19
13	1台のデバイスのSCSI構成	20
14	レール マウント キット コンポーネント	21
15	レールの取り付け	22
16	丸穴または四角穴が付いたラックへのピンの挿入	23
17	丸穴または四角穴が付いたラックでのレールの固定	24
18	10-32ネジ穴が付いたラックからのピンの取り外し	24
19	前面のマウント用プレートの取り付け	25
20	10-32ネジ穴が付いたラックでのレールの固定	25
21	取り付け作業の仕上げ	26
22	電源コードの接続	26
23	ケーブル サポート クリップの取り付け	27

表一覽

1 表記上の規則	7
--------------------	---

本書について

本書では、以下について説明します。

- ラックマウント型メディアトレイの機能とコンポーネント
- メディアトレイのラックへの取り付け
- 仕様

対象読者

本書は、以下についての知識があるシステム管理者を対象としています。

- ストレージ システム
- バックアップ システム

表記上の規則および記号

表1 表記上の規則

規則	要素
ミディアム ブルーの語句: 図1	クロスリファレンス リンクおよび電子メール アドレス
ミディアム ブルーの下線付き語句 (http://jp.sun.com)	Webサイト アドレス
太字	<ul style="list-style-type: none">• アプリケーション名および強調すべき語句
括弧([])で表示	<ul style="list-style-type: none">• キー名• ボックスなどのGUIで入力される文字列• クリックおよび選択されるGUI(メニューおよびリスト項目、ボタン、チェックボックス)
Monospace フォント	<ul style="list-style-type: none">• ファイル名およびディレクトリ名• システム出力• コード• コマンドラインで入力した文字列
イタリック体のMonospace フォント	<ul style="list-style-type: none">• コード変数• コマンドライン変数
太字体のMonospace フォント	ファイル名、ディレクトリ名、システム出力、コード、コマンドラインで入力される文字列の強調

△ 警告!

その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。

△ 注意:

その指示に従わないと、装置の損傷やデータの消失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

 **重要:**

詳細情報または特定の手順を示します。

 **注記:**

補足情報を示します。

ラックに関する注意

ラックの安定性を保つことにより、けがや装置の損傷を防ぎます。

 **警告!**

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで伸ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックをしっかりと連結してください。
 - ラック コンポーネントは一度に1ずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
-

Sunのテクニカル サポート

各国のサポート窓口の電話番号は、次のSunサポートのWebサイトで調べることができます。

<http://www.sun.com/service/contacting/solution.html> (英語)

電話でお問い合わせいただく前に、以下の情報を用意してください。

- SunSpectrumの契約番号
- 製品シリアル番号
- 製品のモデル名とモデル番号
- エラー メッセージ
- オペレーティング システムの種類とバージョン
- 詳細な質問

品質向上のために、お電話を記録またはモニタさせていただくことがあります。

SunのWebサイト

その他の製品情報については、以下のSunのWebサイトを参照してください。

- <http://jp.sun.com> (日本語) – Sunの企業Webサイト
- http://www.sun.com/storagetek/tape_storage (英語) – Sunのストレージ製品
- <http://www.sun.com/service/contacting/solution.html> (英語) – SunサポートWebサイト
- <http://docs.sun.com/app/docs> (日本語) – Sun製品に関する資料

ご意見、ご感想

Sun Microsystemsでは、本書に関するご意見、ご感想をお待ちしております。

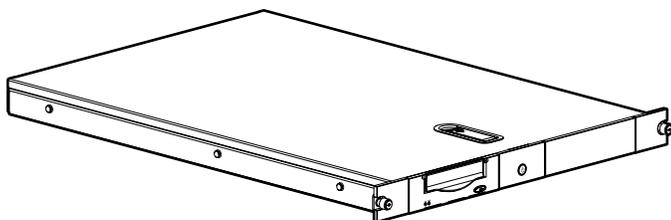
製品マニュアルについて、ご意見、ご提案などありましたら、次のURLから送信してください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback> (英語)

お送りいただいたご意見は、Sun Microsystemsの資産になります。

1 概要

1Uラックマウント型メディアトレイは、最大2台のハーフハイト5.25インチのデバイスを収納できるラックマウント型ストレージシステムです。本製品は、Sun Rack 900およびその他の標準型19インチのラックに対応しており、SASおよびSCSIインターフェースを備えています。



15100

図1 1Uラックマウント型メディアトレイ

標準機能

1Uラックマウント型メディアトレイの標準機能は、次のとおりです。

- 1台または2台の5.25インチハーフハイト デバイスをサポート
- 丸、四角、またはネジ穴などを持つ標準的な19インチ ラックの取り付け

注記:

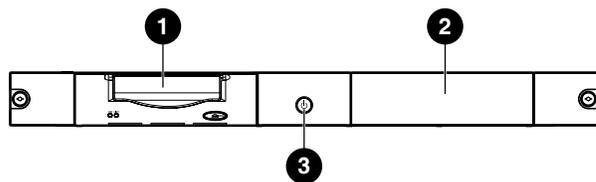
2台以上のSCSIバージョンの1Uラックマウント型メディアトレイのデジリー チェーン接続はサポートされていません。メディアトレイに収納されたデバイスのデジリー チェーン接続は、SCSIインターフェースでのみサポートされています。

注記:

停電後、1Uメディアトレイは手動で電源を入れる必要があります。電源は自動的に入りません。

メディアトレイのコンポーネント

メディアトレイのフロント パネルのコンポーネント

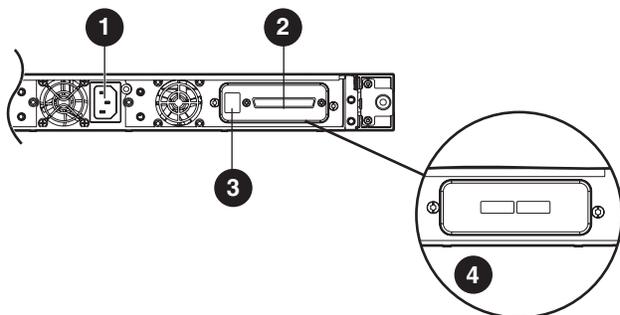


15101

1. デバイス
2. 拡張デバイス ベイ
3. 電源スイッチ/LED

図2 フロント パネルのコンポーネント

メディアトレイのリア パネルのコンポーネント

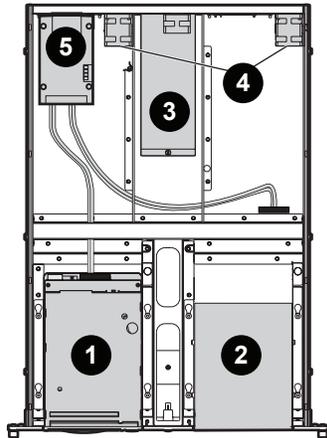


15356

1. AC電源コネクタ
2. SCSIコネクタ (SCSIモデル)
3. SCSI IDスイッチ (SCSIモデルのみ)
4. SASコネクタ (SASモデル)

図3 リア パネルのコンポーネント

メディアトレイ内部のコンポーネント(図はSASバージョン)



15355

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. デバイス | 2. デバイス ブランク |
| 3. 電源装置 | 4. ファン アセンブリ(2) |
| 5. SASリピータ ボード(SASモデルのみ) | |

図4 内部コンポーネント

2 デバイスの取り付け

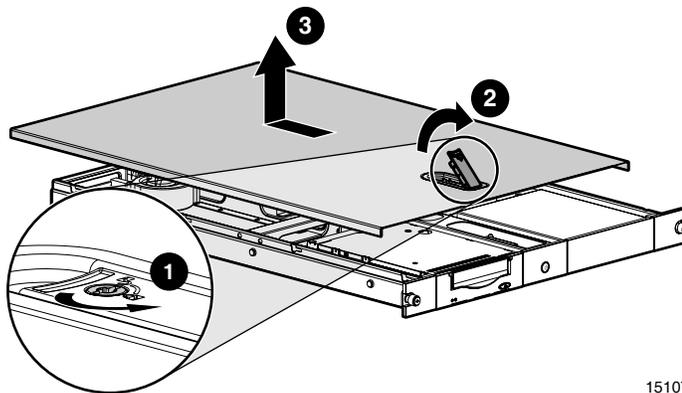
1Uメディアトレイにデバイスを取り付けるには、5mm(3/16インチ) マイナスドライバまたはT-15トルクスドライバが必要です。

△ **注意:**

静電気による機器の損傷を防ぐために、デバイスを扱う前に「静電気対策」(29ページ)で説明している手順をよく読んでから実行してください。

デバイスを取り付けるには、以下の手順に従います。

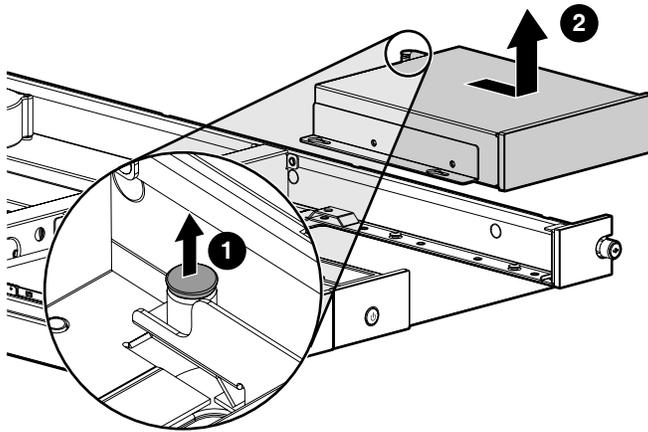
1. 下図に示すとおり、上面のアクセス パネルを取り外します。



15107

図5 アクセス パネルの取り外し

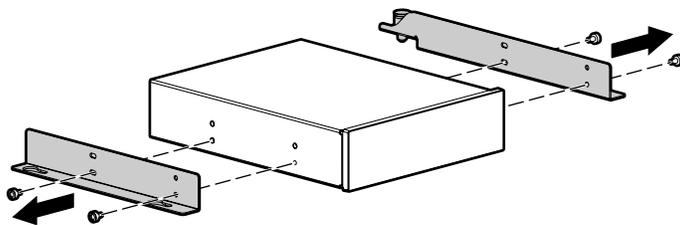
2. 以下の手順でデバイス ブランクを取り外します。
 - a. 右側のマウント用レールのバネ付きボタンを引き上げます。
 - b. アセンブリを前方にスライドさせ、持ち上げます。



15104

図6 デバイス ブランクの取り外し

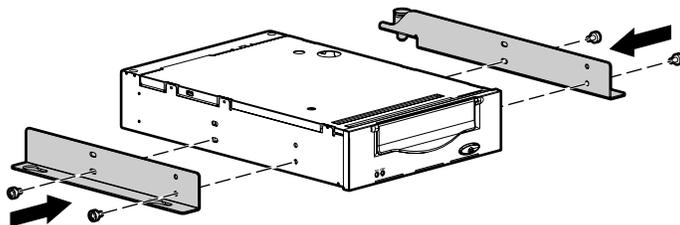
3. デバイス ブランクからマウント用ブラケットを取り外します。



15110

図7 マウント用ブラケットの取り外し

4. デバイスの両側にマウント用ブラケットを取り付けます。

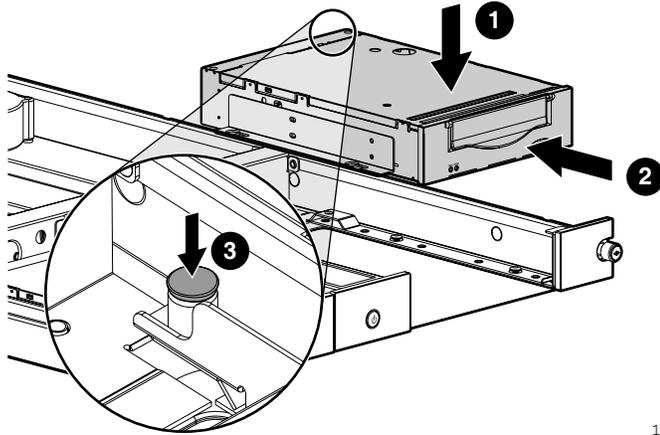


15127

図8 マウント用ブラケットの取り付け

5. 以下の手順で、メディアトレイにデバイスを取り付けます。

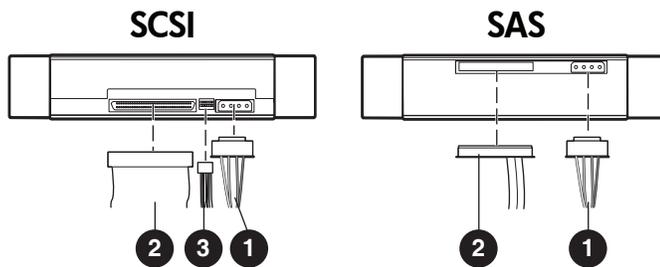
- マウント用ブラケットの鍵穴のような溝をマウント用の支柱の位置に合わせます。
- メディアトレイの背面に向かってデバイスをスライドさせます。
- 自動的にバネ付きボタンがはめ込まれます。



15106

図9 デバイスの取り付け

- 以下のようにケーブルを接続します。



15357

図10 ケーブルの接続

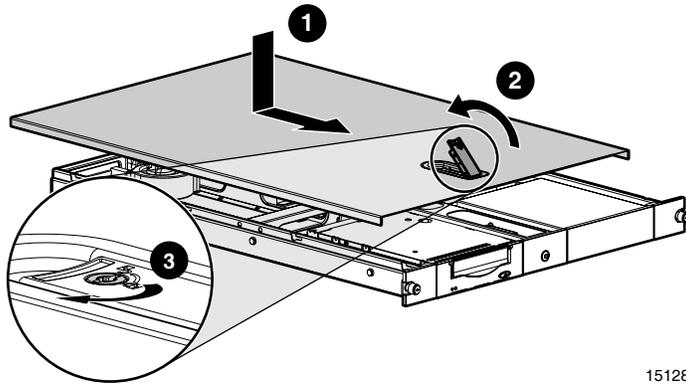
- 電源
- 信号
- 3SCSI IDセレクタ(SCSIドライブのみ)



注記:

余ったケーブルは折りたたみ、メディアトレイの内部にあるクリップで固定します。

- 下図に示すとおり、トップ アクセス パネルを元の位置に戻します。



15128

図11 アクセス パネルの取り付け

2台のデバイスの配線

1Uメディアトレイでは、2台のデバイスの運用が可能です。

SASデバイス

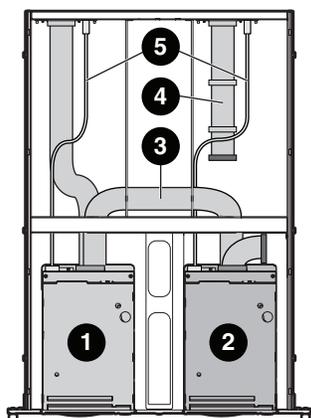
各デバイスは、デバイスをサポートする専用のSASチャンネルに直接接続する必要があります（例えば、テープドライブ デバイスを接続する場合、SASチャンネルがテープをサポートしていることを確認します）。SASインターフェースでは、デージー チェーン接続はサポートされていません。

SCSIデバイス

1Uメディアトレイは、SCSIバスを1つまたは2つ使用した2台のデバイスの運用をサポートしています。2本の内部2ポートSCSIケーブルはメディアトレイに取り付けられているので、お客様の構成に従って、SCSIポートが正しく接続されれば、デバイスの取り付けは完了です。

1つのSCSIバスに2台のドライブ

2台のデバイスを両方とも同じSCSIバスに接続する場合、以下の図に示す構成を使用します。



15103

- | | |
|--|----------------------|
| 1. デバイス1 | 2. デバイス2 |
| 3. SCSIバス1ケーブル。ターミネータに最も近いSCSIコネクタをデバイス2に使用し、中央のコネクタをデバイス1に使用します | 4. SCSIバス2のケーブル(未使用) |
| 5. SCSI IDケーブル、各テープドライブに1ケーブル | |

図12 2台のデバイスのSCSI構成

注記:

SCSIバスを1つ使用する構成で2台目のデバイスを追加する場合、以下の作業を行います。

1. デバイス1からSCSIケーブルを取り外します。
2. ケーブルの終端をシャーシ内部の開いている場所に通します。
3. 終端のポートをデバイス2に接続します。
4. 中間のポートをデバイス1に接続します。

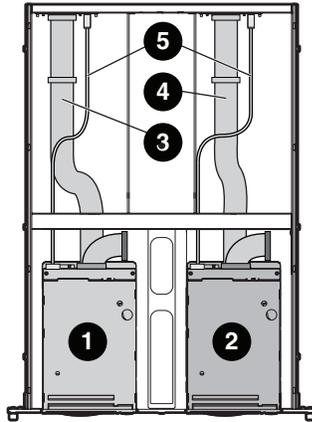
SCSIターミネータは、ケーブルの終端についており、デバイス2の背後に置く必要があります。

注記:

同一SCSIバスの各SCSIデバイスは、固有のSCSI IDを持っている必要があります。SCSI IDが各デバイスで異なっていることを確認し、そのどれもがSCSI ID 7に設定されていないことを確認してください。SCSI IDの7は、SCSIコントローラで使用するために予約されています。

1つのSCSIバスに1台のデバイス

各デバイスを別々のSCSIバスに接続する場合、以下の図に示す構成を使用します。



15105

1. デバイス1

2. デバイス2

3. SCSIバス1ケーブル、ターミネータに最も近いSCSIコネクタはデバイス1に使用

4. SCSIバス2ケーブル、ターミネータに最も近いSCSIコネクタはデバイス2に使用

5. SCSI IDケーブル、各テープドライブに1ケーブル

図13 1台のデバイスのSCSI構成

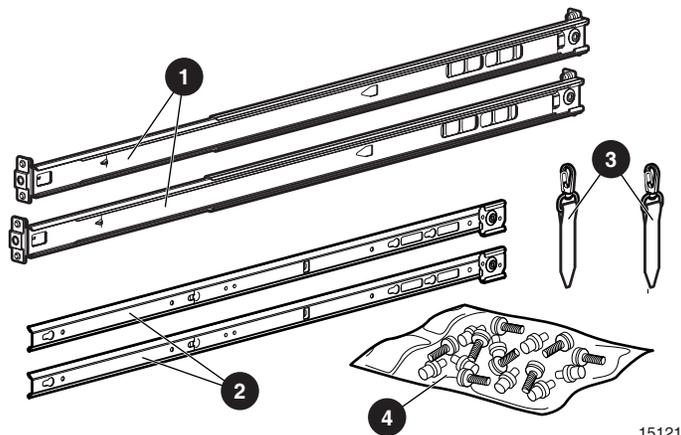
△ 注意:

データエラーが起こらないように、SCSIバスにデバイスが1台しかない場合は、そのデバイスはターミネータに最も近いSCSIポートに接続されている必要があります。

3 ラックの取り付け

レール マウント キット

1Uラックマウント型メディアトレイに付属しているラックレールは、垂直なマウントバーに、丸穴、四角穴、またはネジ穴のあるラックにユニットを取り付けるために使用します。レールは、前面と背面の垂直マウントバーを区切る58～86cm(23～24インチ)のラックにフィットします。2本のレールは同一ですので、左右どちらのレールにもマウントできます。



- 1. 外部ラックレール
- 2. 内部コンポーネントレール
- 3. ケーブル サポート クリップ
- 4. 各種ネジ

図14 レール マウント キット コンポーネント

必要な工具

メディアトレイを垂直マウントバーの印のついていない穴に取り付ける場合、以下のツールを使用するとわかりやすくなります。

- 鉛筆
- メジャー

垂直マウントバーにネジ穴のあるラックにメディアトレイを取り付ける場合、以下のツールが必要になります。

- 5mm(3/16インチ)マイナスドライバ

メディアトレイのラックへの取り付け

△ 警告！

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで伸ばしてください。
- ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
- コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

メディアトレイをラックに取り付ける際は、以下の点に注意してください。

- 必ず、ラックの一番下または先に設置したコンポーネントのすぐ上から作業を開始して、下から上に順に設置してください。
- 可能ならば、一番重いコンポーネントを底部に取り付け、軽いコンポーネントほどラックの上部に取り付けます。
- 必ず、ラックマウンティング レールの前部と後部が同じ高さになるようにしてください。

はじめる前に

メディアトレイを垂直マウント バーの印のついていない穴に取り付ける場合、レールの取り付け前に、ラックの正しい取り付け穴を確認して印をつけます。

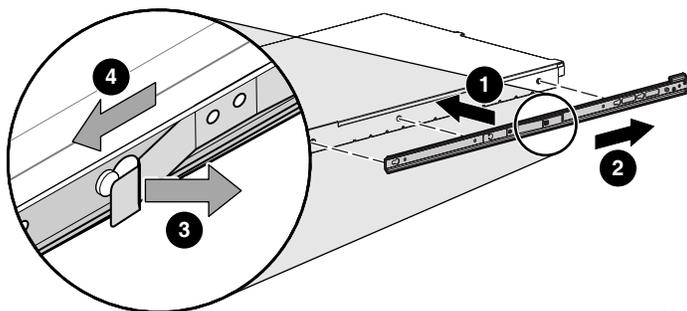
△ 注意：

ラックのコンポーネントを水平に保つことが重要です。1Uメディアトレイが正しく取り付けられたことを確認するには、前面および背面の垂直マウント バーの、正しいマウントする穴の高さを計測する必要があります。

コンポーネント レールの取り付け

コンポーネント レールはメディアトレイに取り付けられ、ラック レール システムの内部に収まります。

1. 左右のコンポーネント レールのスロット穴を、メディアトレイ(1)の側面にある3本のピンに合わせて挿入します。
2. メディアトレイ(2)の後方に向かって、コンポーネント レールをしっかり固定されるまでスライドさせます。



15118

1. メディアトレイのピン
2. 後方へのスライド
3. バネ付きタブ
4. 前方へのスライド

図15 レールの取り付け

注記:

コンポーネントレールを取り外すには、レール側面のバネ付きタブ(3)を引いて前方(4)へスライドさせます。

重要:

補修などのサービスのため、1Uラックマウント型メディアトレイを返却する場合は、コンポーネントレールを取り外して保管しておきます。

ラック レールの取り付け

取り付け手順はラックの種類によって異なります。レールは、丸穴または四角穴のあるラックに取り付けできるように出荷されます。10-32ネジ穴のあるラックにレールを取り付ける場合、マウントピンをまず取り外す必要があります。ご使用のラックの取り付け方法については、以下のいずれかの項を参照してください。

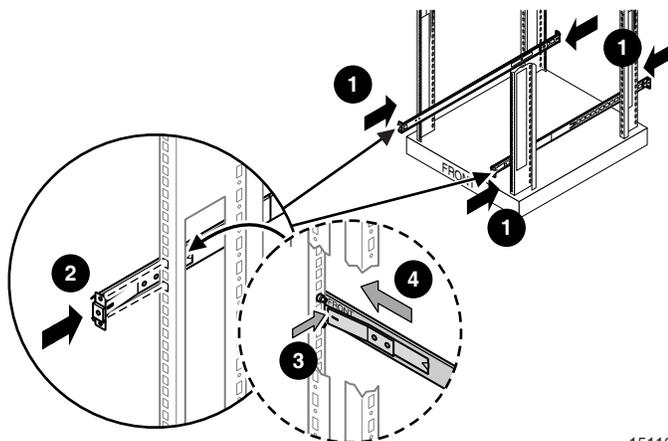
- 丸穴または四角穴のあるラックへの取り付け
- 10-32ネジ穴のあるラックへの取り付け

丸穴または四角穴が付いたラックへの取り付け

注記:

ラックレールの端には、正しく取り付けられるようにFRONTとREARの印がついています。

1. 外側のラックレールのマウント板(前側)にあるピンを、ラックの垂直マウントバー(前側)にあらかじめ印をつけた穴へ挿入します。ラックレールはしっかり固定されます。



15116

図16 丸穴または四角穴が付いたラックへのピンの挿入

注記:

位置を調節するためにレールを取り外すには、ラックレールの外側にあるバネ付きタブ(3)を押して、前方へスライド(4)させます。

2. 後方の垂直マウントバーを越すまでラックレールを引き出し、ラックにあらかじめ印をつけた穴にマウンティングブラケットのピンを挿入します。ラックレールは、レールの端が前方へ押されるとしっかりロックされます。

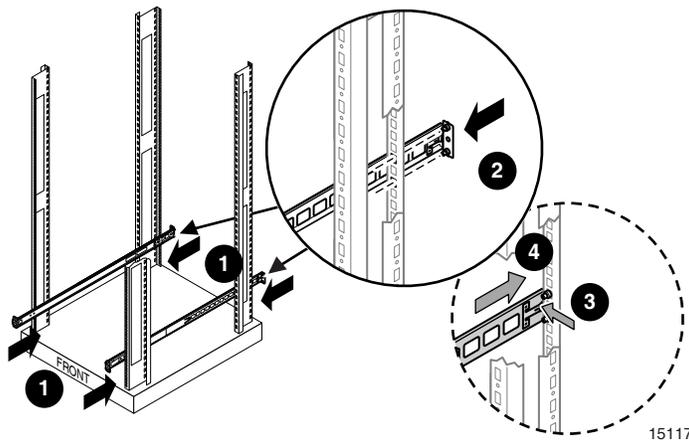


図17 丸穴または四角穴が付いたラックでのレールの固定



注記:

位置を調節するためにレールを取り外すには、ラックレールの外側にあるバネ付きタブ(3)を押して、後方へスライド(4)させます。

ラックへのレールの取り付けが完了しました。続いて、「取り付け作業の仕上げ」の作業を行います。

10-32ネジ穴のあるラックへの取り付け

10-32ネジ穴のある垂直マウントバーのラックへ取り付ける場合は、レールに付いているピンを取り外す必要があります。レールは、お手持ちの10-32 x .375ネジで取り付けます。

1. 外側の各ラックレールの両端から、ピンとネジ板を取り外します。取り外した金具は不要です。

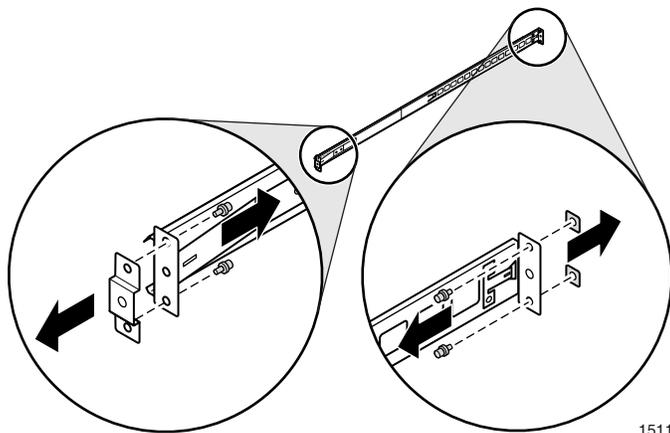


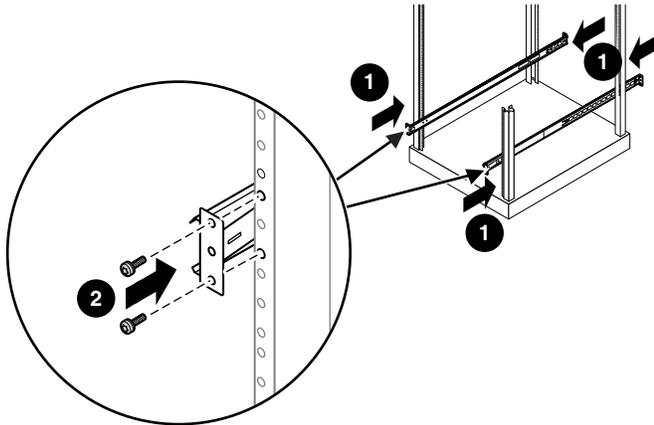
図18 10-32ネジ穴が付いたラックからのピンの取り外し



注記:

ラックレールの端には、正しく取り付けられるようにFRONTとREARの印がついています。

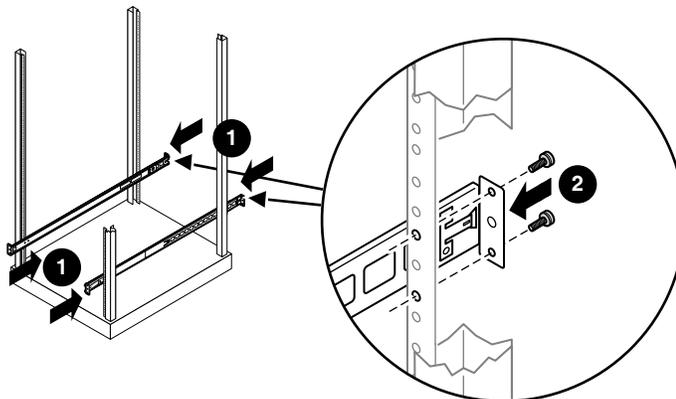
2. 外側の各レールのフロント マウント板を、4本の10-32ネジを使用して、ラックの垂直マウント バー（前側）の、あらかじめ印を付けた穴に取り付けます。



15119

図19 前面のマウント用プレートの取り付け

3. 後方の垂直マウント バーを越すまでラックレールを引き出し、4本の10-32ネジを使用して、外側の各レールの後方マウント板を、ラックにあらかじめ印をつけた穴に取り付けます。

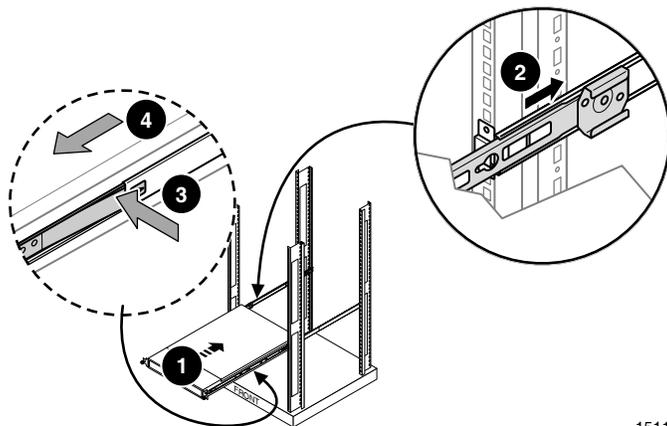


15120

図20 10-32ネジ穴が付いたラックでのレールの固定

取り付け作業の仕上げ

1. ラックに固定脚がある場合は伸ばします。
2. 左と右のラックレールをラックの前面から伸ばします。
3. メディアトレイ上のコンポーネントレールの後端とラックレールの前部分とを合わせて、エンクロージャをラック内へ完全にスライドさせます。



15111

図21 取り付け作業の仕上げ

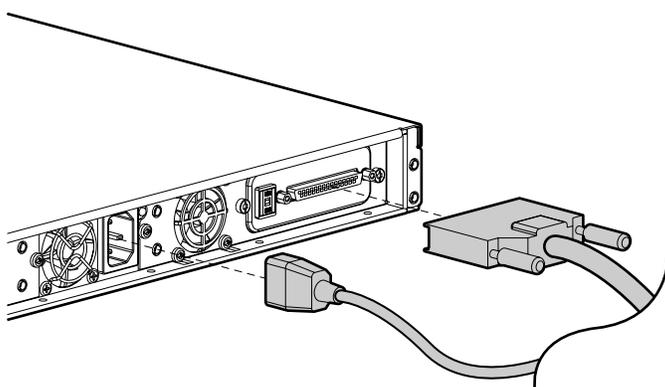
△ 注意:

コンポーネント レールをラック レールにスライドさせる場合、必ず、メディアトレイが床と平行になるようにしてください。メディアトレイを上下に傾けると、レールを壊してしまう場合があります。

📖 注記:

メディアトレイをラックから取り外す場合、背面のケーブルを取り外してください。両側にあるラッチを押して(3)、メディアトレイをラックから引き出します(4)。ラッチの位置については、「取り付け作業の仕上げ」(26ページ)を参照してください。

4. フロント パネルのつまみネジを締めます。
5. ラックの固定脚を使用している場合は引っ込めます。
6. メディアトレイのリア パネルにある信号コネクタにサーバの信号ケーブル(SASまたはSCSI)を差し込みます。
7. AC電源コードを電源コード コネクタに接続してから、アース付き電源コンセントに差し込みます。



15129

図22 電源コードの接続

8. メディアトレイの片面または両面のラック レール後部にケーブル サポート クリップを取り付けます。

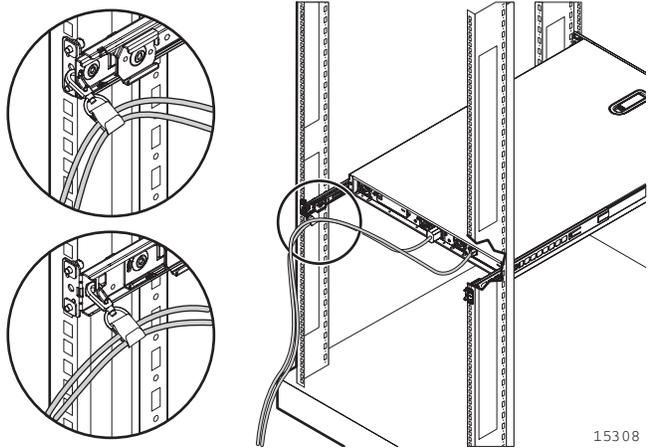


図23 ケーブル サポート クリップの取り付け

9. フロント パネルの電源ボタンでメディアトレイに電源を入れます。

A 静電気対策

静電気による損傷の防止

システムの損傷を防ぐために、セットアップおよび部品の取り扱いの際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電物からの静電気放電によって、システム ボードなどの静電気に弱いデバイスに損傷を与えることがあります。その結果、本体の耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷を防止するには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずアースされている面にケースごと置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないでください。
- 静電気に弱いコンポーネントや部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

静電気による損傷を防止するためのアースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- アースしたワークステーションまたはコンピュータ本体にアース用コードで接続した、アース バンドを着用します。アース バンドは柔軟性のあるストラップで、アース用コードが最低でも1M オーム±10パーセントの抵抗値を持っています。アースを正しく行うために、アース バンドを肌に密着させてください。
- 立って作業する場合、かかとやつま先にアース バンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアース バンドをつけます。
- 工具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がないときは、HP製品販売店にお問い合わせください。

製品取り付けの際の静電気について、または製品取り付けのサポートに関する詳細は、Sun Microsystemsにお問い合わせください。

B 仕様

仕様	S.A.E.	メートル法
寸法:		
高さ	1.75インチ	4.44cm
奥行き	25.25インチ	64.1cm
幅	19.0インチ	48.3cm
重量(デバイスが1台取り付けられている場合)	20lb	9.07kg
定格入力電源	90~264VAC 2.4A 47~63Hz 140W*	90~264VAC 2.4A 47~63Hz 140W*
発熱量(最大)	478BTU/hr*	478BTU/hr*
温度範囲		
動作時	41° F~104° F	5°C~40°C
非動作時	-40° F~158° F	-40°C~70°C
相対湿度		
動作時(結露しないこと)	20%~80%	20%~80%
非動作時	5%~95%	5%~95%
湿球温度(最大)	79° F	26°C
高度(最高)		
動作時	0~15,000フィート	0~4,600m
非動作時	0~50,000フィート	0~15,200m
*入力電源と放熱効率の規格は最大値で、最大電力供給時のワーストケース条件に適合します。従って、ご使用のシステム構成の入力電力と発熱量は、装置の構成によって異なります。		

索引

S

- SAS
 - ケーブルの構成, 18
- SCSI
 - ケーブルの構成, 18
- Sun
 - テクニカル サポート, 8

W

- Webサイト
 - Sun, 8

あ

- アースの方法, 29

か

- 概要
 - 1Uメディアトレイの, 11

き

- 規則
 - 表記上の, 7
 - 本文中の記号, 7
- 機能
 - 標準, 11

け

- 警告
 - ラック, 22
 - ラックに関する注意, 8
- ケーブルの構成
 - 1台のSCSIバスに2台のドライブ, 18
 - 1つのSCSIバスに1台のデバイス, 20
 - SAS, 18
 - SCSI, 18

こ

- 工具
 - ラック取り付け, 21
- コンポーネント
 - 内部, 13
 - フロント パネル, 12
 - リア パネル, 12

さ

- サポート
 - 入手, 8

し

- 仕様, 31

せ

- 静電気, 29
- 静電気対策, 29
 - アースの方法, 29
 - 防止, 29

た

- 対象読者, 7

て

- テクニカル サポート
 - Sun, 8
- デジジー チェーン
 - メディアトレイ, 11
- デバイス
 - 取り付け, 15

と

- 取り付け
 - デバイス, 15
 - 必要な工具, 21
 - メディアトレイ, 22
 - レール, 21

な

- 内部コンポーネント, 13

ひ

- 表記上の規則, 7

ふ

- フロント パネル
 - コンポーネント, 12

ほ

本文中の記号, 7

ま

マニュアル
ご意見、ご感想, 9

ら

ラック システム
サポート対象の, 11
ラックに関する注意
警告, 8

ラックへの取り付け
警告, 22
メディアトレイ, 22

り

リア パネル
コンポーネント, 12

れ

レール
取り付け, 21